

ALCパネル用省力形仕上塗材

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

ALCファイニッシュ

ONE
DAY
FINISH

ワンデイファイニッシュの経済性を実現

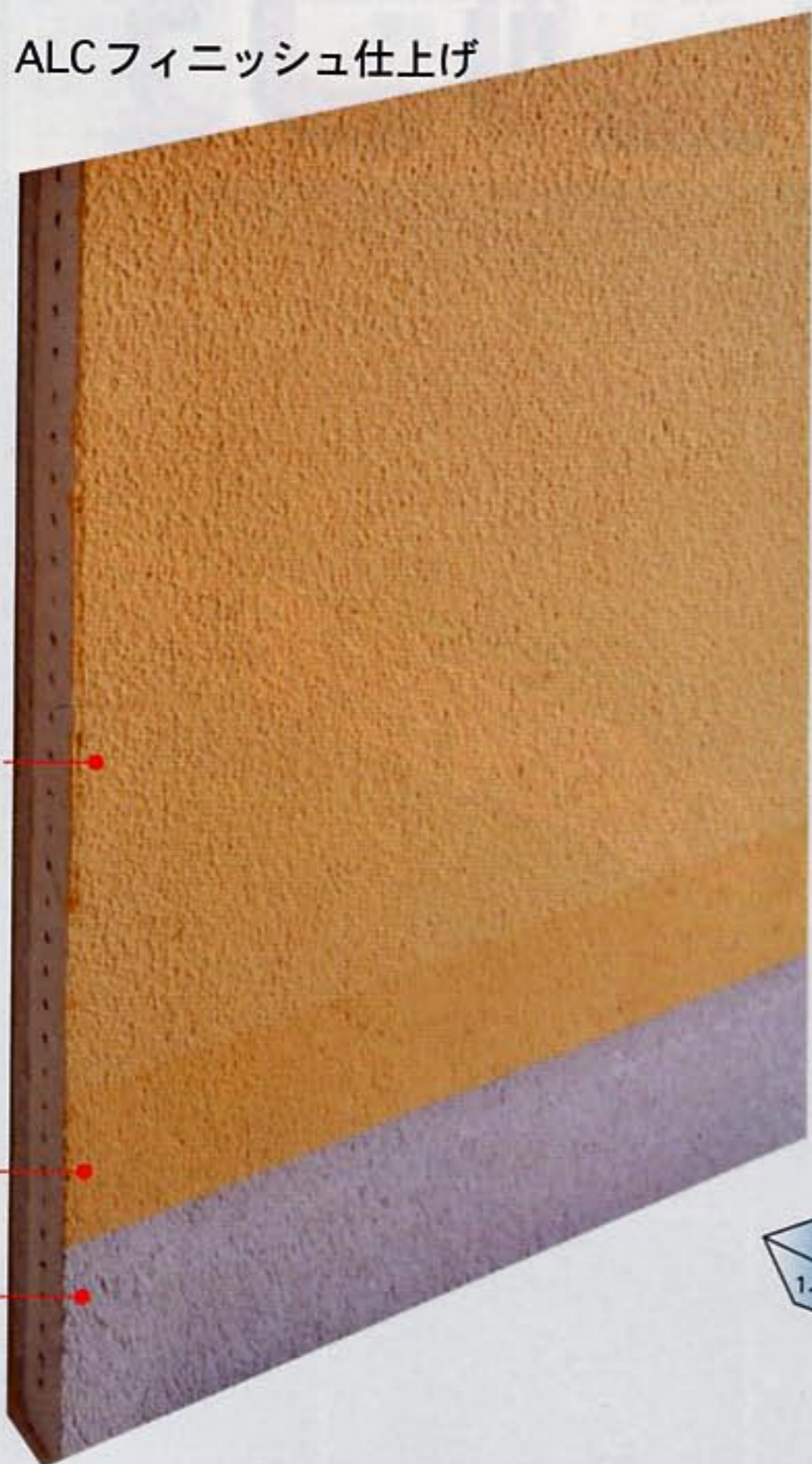
ALC FINISH

• ALCパネル用省力形仕上塗材 •

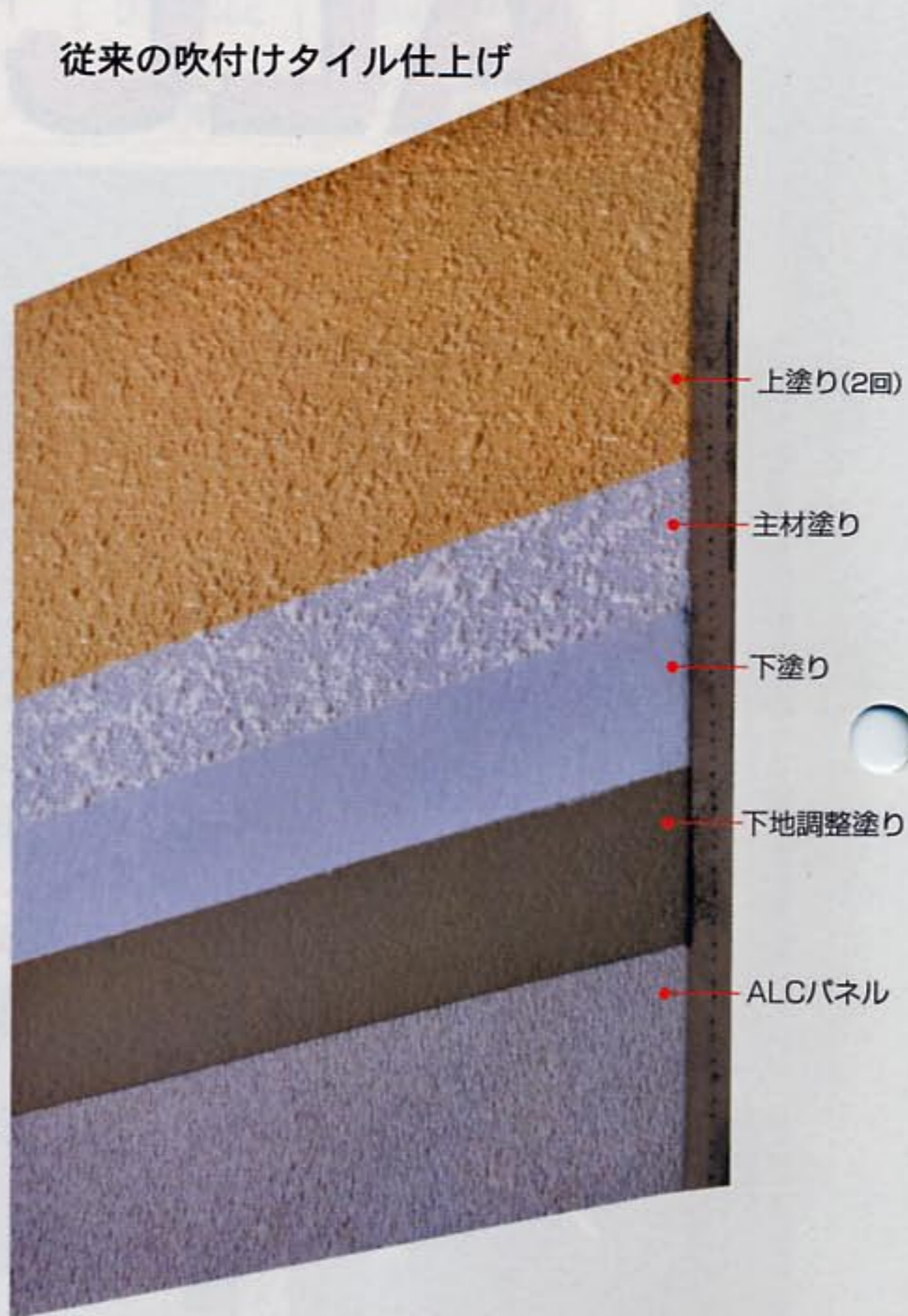
ALCフィニッシュ

【ALCパネル下地における仕上塗材の工程】

ALCフィニッシュ仕上げ



従来の吹付けタイル仕上げ



2回	塗り回数	5回
1~2日	工期	3~4日

工程短縮 工期短縮

- ALCパネルは多孔質で表面が粗い基材ですので、下地調整塗り後、各種の仕上塗材が施工されます。
- ALCフィニッシュは、同一材料の2回塗り(2工程)で仕上げられます。
- 1日での仕上げが可能になり、大幅な工期の省力化が図れます。

透湿性

- 透湿性に優れますから、ALCの調湿機能が活かされ、パネル内の内部結露の発生などを抑制できます。

高耐候性

- 自己架橋形アクリルシリコン樹脂を用いていますので、付着性、耐チョーキング性、耐候性に優れています。

可とう性

- 可とう性を有する塗膜ですので、ヘアークラックに追随し、防水効果を発揮します。

防藻性 防かび性

- 高度なバイオ技術により、藻・かびなど微生物の発生を押えます。



意匠性

- ・ローラー工法によるさざなみ仕上げ、吹付け工法による平滑仕上げができます。
- ・仕上りは、肉持ちのあるつや消しです。

さざなみ仕上げ



平滑仕上げ



塗膜性能

試験項目	試験結果	試験方法及び規格	
乾燥性	3時間	800 μ 23 $^{\circ}$ C	
隠ぺい率 (%)	94	225 μ	
耐水性	合格	水に1週間浸漬したとき異常がないこと (基材: ALCパネル)	
耐アルカリ性	合格	水酸化カルシウム飽和溶液に1週間浸漬したとき異常がないこと (基材: ALCパネル)	
温冷繰返し	合格	JIS A 6909に準拠 (基材: ALCパネル)	
付着強さ (N/mm ²)	標準状態	1.1	
	浸水後	0.8	
可とう性	合格	JIS A 6909に準拠 (基材: モルタル)	
透水性A法 (cm)	0	JIS A 6909に準拠	
耐候性A法	合格	JIS A 6909に準拠	
透湿性 (g/m ² ·24h)	125	JIS Z 0208に準拠 (さざなみ仕上げ)	
耐微生物性	かび抵抗性	合格	JIS Z 2911に準拠 (かび抵抗性試験)
	藻類抵抗性	合格	寒天培地法に準拠
耐汚染性	合格	屋外暴露6ヶ月 (色差が10以下)	

■ 用途：建築物 外壁・内壁・(ALCパネル下地)

■ 容量：ALCフィニッシュ 白 (淡彩色・中彩色・濃彩色) ……20kg



標準施工仕様

◆ さざなみ仕上げ

工程	塗材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法	
1	下地調整	<ul style="list-style-type: none"> 下地は十分に乾燥させる。 ごみ、粉状物、ほこりなどの付着物をサンドペーパー、ブラシ、エアダスターなどで取り除き清掃する。 巣穴、欠け、傷などはあらかじめラフトンフィラーなどで補修する。 					
2	主材塗り (1回目)	ALCフィニッシュ 清水	100 5~10	0.25~0.50	1	3時間以上	ウールローラー塗り
3	主材塗り (2回目)	ALCフィニッシュ 清水	100 0~3	0.7~1.0	1	(最終養生) 24時間以上	パターンローラー 細目塗り

◆ 平滑仕上げ

工程	塗材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法	
1	下地調整	<ul style="list-style-type: none"> 下地は十分に乾燥させる。 ごみ、粉状物、ほこりなどの付着物をサンドペーパー、ブラシ、エアダスターなどで取り除き清掃する。 巣穴、欠け、傷などはあらかじめラフトンフィラーなどで補修する。 					
2	主材塗り (1回目)	ALCフィニッシュ 清水	100 8~10	0.7~1.0	1	3時間以上	吹付け 万能ガン (口径：5.5mm)
3	主材塗り (2回目)	ALCフィニッシュ 清水	100 13~16	0.2~0.3	1	(最終養生) 24時間以上	吹付け 万能ガン (口径：3.0mm)

施工上の注意事項

- 気温5℃以下・湿度85%以上の場合は、乾燥が遅れたり、造膜性を低下させますので施工を避けてください。
- 冬期や雨天などで結露を生じやすい時、降雨・降雪が予想される時、強風(5m/秒以上)の時などは、施工を避けてください。
- シーリング面への施工は、シーリング材の種類・養生期間により、塗膜に、はがれ・割れ・汚染を生じることがあります、汚れ防止には、ラフトン逆プライマーの事前塗装をおすすめします。詳しくは、最寄りの営業所へお問い合わせください。
なお、シリコンシーリングとは、付着しませんので、施工しないでください。
- 塗材はよく攪拌してご使用ください。
- 仕上り、色などを試し塗りで確認してから本施工に入ってください。
- ALC以外の下地の場合は、下記、下塗材を塗装してください。
水系……サンプラ、サンプラホワイト、ラフトンEMシーラー 溶剤系……ピナクルシーラー、ピナクルホワイト
- 施工器具は、使用后、直ちに洗浄してください。
- 養生テープを取り外す時、塗膜が同時に剥がれないようカッターで切り込みを入れ、除去してください。

取扱い上の注意事項

- 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
・防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど。
- 容器から出し入れするときには、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。
・雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所(5℃以下) など
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要なときには、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。



営業本部 〒510-0101 三重県三重郡楠町小倉1058-4 ☎0593-97-6190 FAX 0593-97-6191
技術本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎0593-46-1116 FAX 0593-46-4585

ISO 9001認証取得



札幌支店 ☎0133-60-6311	東京支店 ☎03-5661-2211	名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601	広島支店 ☎082-277-1116	四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071		
旭川出張所 ☎0166-29-6111	東北営業所 ☎0224-82-1633	群馬出張所 ☎027-253-4821
埼玉営業所 ☎048-643-7180	千葉出張所 ☎043-486-0096	神奈川営業所 ☎046-286-3220
新潟営業所 ☎025-271-2345	金沢営業所 ☎076-267-1922	静岡営業所 ☎054-236-0825
三重出張所 ☎0593-97-6115	平野営業所 ☎06-6791-6291	播磨営業所 ☎0791-67-1468
和歌山出張所 ☎073-461-2711	岡山出張所 ☎086-470-2808	松山出張所 ☎089-922-0577
北九州出張所 ☎093-562-1503	熊本出張所 ☎096-378-1795	宮崎出張所 ☎0985-50-6840
鹿児島出張所 ☎099-265-9480	沖縄営業所 ☎098-884-6054	

取扱店